

無害化酵素、低コスト生産

エス・ジー・ラボラトリー、菌を発見、工程短く

微生物分析などを手掛けるエス・ジー・ラボラトリー(福岡市、藤隆次郎社長)はこのほど、半導体工場や飲料物製造工場でボトルの洗浄剤などとして利用される過酸化水素を無害化する酵素を低コストで大量生産する技術を開発した。生産過程を効率化でき、既存の半額程度で商品化できる。半導体工場の集積が進む九州で急増する過酸化水素の需要に対応し、年内の商品化を目指す。

洗浄剤の過酸化水素

半導体工場など向け

過酸化水素は洗浄剤として利用される液体。ダク用する工場が増加している。ただ、過酸化水素はイオキシソなどの発がん性物質が工場外に流出する可能性がある塩素系の洗浄剤と代替物として利用された後は、水や酸素などに分解して無害化する必要がある。同社は過酸化水素を水と酸素に無害化する過程

で触媒として機能する酵素「カタラーゼ」を能率的に作り出す菌を発見、二〇〇五年四月に特許も出願した。これまではカタラーゼ

を作る菌を十日間ほど培養する必要があった。同社が発見した新しい菌を使用すれば一日で培養できる。同社の菌を使えばカタラーゼを含んだ液体から水分などを取り除く濃縮工程が必要なくなるため、廉価でカタラーゼを生産できるといふ。

通常一辺五千五百円程度だが、同社は半額程度で商品化する。月内にも一トを培養する大量生産実験を実施し、過酸化水素を無害化する能力などを確かめるため、夏には福岡県内の半導体工場に実際に使用する。カタラーゼの国内の生産量は一九九九年の十四万五千トから〇三年には二一%増の十七万六千トに増加。半導体工場や飲料物製造工場などが多数集積している九州でも今後需要は増加すると見られる。

ミドリ薬品とマツキヨ提携

PBを相互供給

鹿兒島県を本拠地とするドラッグストア中堅のミドリ薬品は二日、最大手のマツモトキヨシと業務・資本提携することで基本合意したと発表し

た。プライベートブランド(PB)自主企画)商品の相互供給や物流機能の共有化などを進め、商品力の強化や事業の効率化につなげる。(企業面参照)

両社が販売するPB商品を相互供給するほか、商品の仕入れや販売面でも情報交換を進める。福岡県内にあるマツモトキヨシの

の三県も堅調な動きを示す。

存度が高い長崎、宮崎両県は厳しい状況が続いて業規模、業種などのばらつきに留意することが必要

「暖かい」女性専用

の三県も堅調な動きを示す。

存度が高い長崎、宮崎両県は厳しい状況が続いて業規模、業種などのばらつきに留意することが必要

大分 携帯 キヤ 精密

ヨシの も共有 キヨシ に八店 ミドリ 複する なるの 能「(ている 両社 株式数 安に互